

特別支援教育でお困りのことはありませんか？ 高志支援学校へご相談ください！

高志支援学校は、中新川・滑川地区の特別支援教育のセンター校です。気になる幼児児童生徒や肢体不自由のある幼児児童生徒の指導・支援、学習環境についてサポートします。お気軽にご相談ください。

対象は？ 幼稚園、保育所（園）、認定こども園、小学校、中学校、高等学校の先生方

どんなことができるの？

相談

幼児、児童、生徒の発達や学習、行動、教室環境などのご相談をお受けします。

研修

特別支援教育に関する研修会に協力します。

紹介

I C T機器や補助具、書籍などの教材・教具をご紹介します。

相談の方法は？



まずは管理職の先生から、支援部担当教頭へ

お電話ください。(相談の秘密は厳守します。)

- ・電話相談、来校相談、訪問相談（保育・授業観察及びケース会議）など、ニーズに応じて対応します。
- ・「特別支援教育コーディネーター派遣依頼書」は、F A Xで提出してください。様式は、当校のホームページからダウンロードすることができます。

<http://koshi-sh.el.tym.ed.jp/>

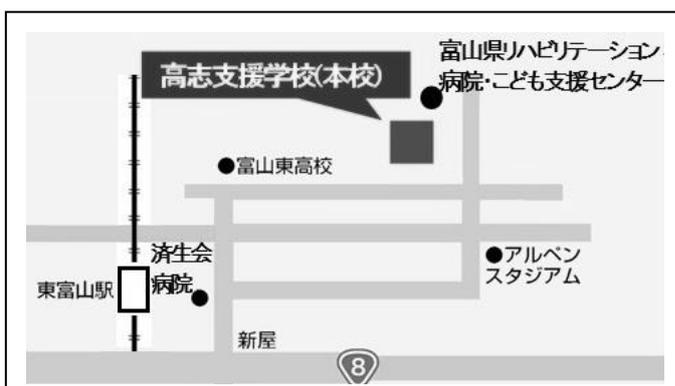
<訪問相談の流れの例>



富山県立高志支援学校

〒931-8445 富山市道正29番1
TEL (076) 438-4812
FAX (076) 438-9328

支援部担当教頭 青山
特別支援教育コーディネーター



どんな相談ができるの？

学習について

- ・漢字や英単語の読み書きが難しい。
- ・計算が苦手な学習を嫌がる。
- ・板書を写すのに時間がかかる。



読み書きの困難は、学習そのものを困難にします。学習の誤りのパターンからつまずきの要因を一緒に考えましょう。特別支援学校で実施している指導方法や教材を紹介します。合理的配慮についてもご相談ください。ICT機器やアプリの紹介もしています。

学習用具や環境の工夫について

- ・鉛筆やはさみ、コンパスなどがうまく使えない。
- ・姿勢が崩れやすく、疲れやすい。
- ・活動の切り替えができない。
- ・授業中に席を離れてしまう。
- ・約束や物を忘れてしまう。



手にまひや不器用さがある場合には、補助具を使うことで文房具を操作しやすくなります。姿勢を保持するための机や椅子などの学習環境の工夫について、専門的な立場からの情報を提供します。

通常の学級に在籍している、行動の気掛かりな子供も、教室環境やかかわりの工夫で行動が変わることがあります。子供への支援を一緒に考えましょう。

人間関係のトラブルについて

- ・失敗したり、勝負に負けたりすると、パニックになる。
- ・登校しぶりが見られる。
- ・被害的に感じやすく、暴言や暴力が見られる。



子供たち自身が友達とうまく関わることができずに悩んでいます。登校しぶりや「どうせ～」という言動は二次障害のサインかもしれません。早期に手立てを考えましょう。



自立活動について

- ・目標の立て方を相談したい。
- ・自立活動の教材や教具を知りたい。
- ・指導の例を知りたい。

子供の実態から課題を整理するお手伝いをします。指導目標や具体的な指導方法について一緒に考えましょう。

個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成と活用について

- ・作成してみたが、目標設定がこれでよいのか相談したい。
- ・個別の教育支援計画と個別の指導計画の違いを知りたい。

個別の教育支援計画や個別の指導計画についてのご相談にお応えします。分からないことや心配なことをお聞かせください。

悩みを一人で抱えないで！

**特別支援教育コーディネーターや
管理職の先生にご相談ください。
センター校も協力します。**

